



米海兵隊創設 246 年を祝う記念式典「Uniform Pageant」（米海兵隊岩国航空基地：山口県岩国市）

令和 3 年 1 月 4 日、米海兵隊岩国航空基地の司令部前において、海兵隊創設 246 年を祝う式典の一環として、「Uniform Pageant」と呼ばれる海兵隊創設から現代に至るまでの歴代の制服を着た隊員が参加する式典が行われた。

中央の特大ケーキは、最年長の隊員から最年少の隊員へ取り分け渡すことにより、海兵隊創設から現代までの歴史と伝統を次の世代に継承していく意義が込められているとのことである。



目次

- 2 航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機（KC-46A）の配備について
- 3 令和 3 年版防衛白書の地方公共団体への説明
- 4 航空自衛隊第 41 教育飛行隊 美保基地から浜松基地へ 陸上自衛隊原村演習場における米軍単独訓練の実施
- 5 岩国市まちづくり支援事業
- 6 第 2 宇宙作戦隊（仮称）の新編（防府北基地）
- 7 第 32 回防衛セミナー（オンライン）の概要
- 8 海上自衛隊 艦船の進水式
- 9 在日米海軍司令官の中国四国防衛局来訪
- 10 令和 3 年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰
令和 3 年度 中国四国防衛局永年勤続者表彰
中国四国防衛局 岩国防衛事務所の紹介
- 11 中国四国防衛局 職員日記（岩国防衛事務所）
- 12 中国四国防衛局 広報誌編纂委員の旅日記
- 13 2021 年（令和 3 年）中国四国防衛局主要事項一覧





航空自衛隊美保基地における 空中給油・輸送機 (KC-46A) の配備について

空中給油・輸送機 (KC-46A) 初号機の納入

令和3年10月29日、鳥取県米子市、境港市に所在する航空自衛隊美保基地に空中給油・輸送機 (KC-46A) 初号機が納入されました。

KC-46Aは、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、南西地域の防衛体制の強化を始め、各種事態における実効的な抑止及び対処を実現し、我が国の防空を全うするため、航空優勢の獲得・維持を目的として配備が計画されたものです。

中国四国防衛局では、KC-46A初号機の納入に当たり、地元の皆様に実機をご覧いただくための展示飛行及び航空機騒音の状況を確認するための騒音測定を実施しました。



令和3年10月29日 KC-46A初号機納入状況



令和3年10月29日 騒音測定状況

関係自治体・議会への説明、住民説明会の実施

令和3年11月15日から19日にかけて、関係自治体（鳥取県、島根県、米子市、境港市、松江市、安来市）、鳥取県議会、米子市議会、境港市議会及び米子飛行場周辺地域振興協議会に対し、KC-46Aの安全性や騒音測定結果等を説明するとともに、境港市内において住民説明会を実施しました。

また、同月21日には、平井鳥取県知事、伊木米子市長及び伊達境港市市長による、美保基地でのKC-46Aの視察が行われ、今給黎局長から同機の安全性や地元説明の結果等を説明しました。



令和3年11月18日 境港市住民説明会



令和3年11月21日 KC-46A視察状況

今後の配備計画等

KC-46Aは、中期防衛力整備計画等を踏まえ計6機の配備が計画されており、そのすべてが美保基地に配備される予定です。

10月29日に初号機が納入され、令和4年2～3月頃に2号機、令和5年度に3、4号機、さらに、令和6年度以降に5、6号機の納入が予定されています。

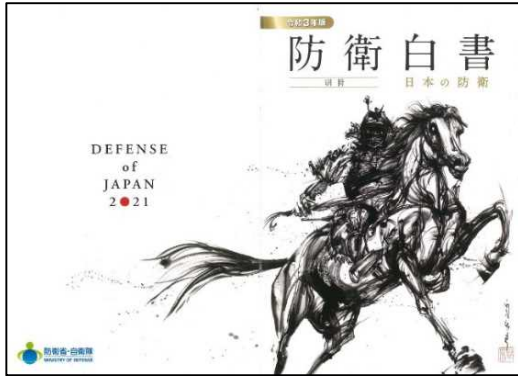
防衛省としては、今後とも、美保基地周辺の皆様が安心して安全に暮らせる環境を確保することが出来るよう、騒音対策や安全運用に万全を期してまいります。



令和3年版防衛白書の地方公共団体への説明

防衛白書は、できる限り多くの皆さまに、分かりやすい形で、わが国防衛の現状とその課題及び取組について周知を図ることを目的として刊行されているものです。

中国四国防衛局では、地域の皆様に防衛政策についてのご理解を深めて頂く一助となるよう、自衛隊地方協力本部及び関係部隊等と連携し、管内9県の知事や自衛隊・米軍が所在する自治体の市長等に防衛白書の内容について毎年説明を行っており、本年も新型コロナウイルスの感染状況を見極めつつ各自治体を訪問しました。



令和3年版防衛白書より転載



岩国市 福田市長 (3. 8. 25)



周防大島町 藤本町長 (3. 10. 20)



大竹市 入山市長 (3. 10. 20)



香川県 浜田知事 (3. 11. 15)



岡山県 伊原木知事 (3. 11. 17)

「令和3年版防衛白書」は、防衛省HPからご覧いただけます。
<https://www.mod.go.jp/j/publication/wp/index.html>

防衛省HP
防衛白書ページ





航空自衛隊第41教育飛行隊 美保基地から浜松基地へ



第三輸送航空隊記念行事（航空自衛隊美保基地）

令和3年10月15日、航空自衛隊美保基地において、第三輸送航空隊記念行事がとり行われ、関係自治体関係者の立会の下、T-400輸送機・救難機の展示飛行などが行われました。

当該機は順次航空自衛隊浜松基地へ移転し、10月末までに全ての機体の移転が完了しました。

T-400は、平成6年2月に航空自衛隊第三輸送航空隊第41教育隊（美保基地）に配備され、以来約500名の自衛官が所要の訓練を終え、卒業しています。

今般、同部隊は、教育部隊が集中する航空自衛隊浜松基地へ移動にすることになりましたが、美保基地において、教育飛行隊の発足以来、温かい御支援を頂きました地元の皆様に謝意を申し上げます。



T-400展示飛行（航空自衛隊美保基地）



陸上自衛隊原村演習場における米軍単独訓練の実施

令和3年10月17日から23日まで、広島県東広島市に所在する陸上自衛隊原村演習場において、在日米海兵隊岩国航空基地所属の後方支援部隊による単独訓練が実施されました。

本訓練は、平成3年8月に初めて実施されて以降、今回で49回目になり、演習場区域において軍用車両による障害物訓練、浄水訓練等が実施されました。

本訓練実施にあたり、当局はこれまでと同様、訓練前においては、訓練実施期間及び内容等を関係自治体等へ通知し、訓練期間中においては、当局職員を連絡員として現地に派遣し、訓練状況を把握するなどの対応を行いました。



訓練の様子



訓練の様子

訓練部隊は、最大限の安全確保等を行い、7日間の訓練を無事に終えた後、演習場周辺の一般道路を汚さないよう、使用車両の洗車等を徹底して行うなど細心の注意を払い、所属部隊へ戻りました。





岩国市まちづくり支援事業

防衛省では、防衛施設が所在する地方公共団体等を対象に、その設置・運用による障害を緩和し、周辺住民の負担軽減に資する施策を行ってきていますが、これに加え、地方公共団体が行う防衛施設の存在を前提としたまちづくりを支援することで、防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策を行っています。

以下、本施策により山口県岩国市において進められている「岩国市まちづくり支援事業」の現状について紹介します。



※国土地理院の地理院地図を利用

【愛宕山地区】



いわくに消防防災センター（外観）



（内観）



多目的広場（全景）



（屋根付き広場）

岩国市「愛宕山地区」の防災拠点施設（いわくに消防防災センター及び多目的広場）については、平成23年度から事業に着手し、令和3年3月に全ての施設が完成し、災害時における活動拠点となっています。

いわくに消防防災センターは、消防庁舎と本格的な訓練施設を配置するほか、庁舎1階には岩国地域の災害特性を踏まえた体験学習ができる岩国市防災学習館を併設しています。

また、多目的広場には貯水槽やマンホールトイレも整備され、災害時における近隣住民の一時的な避難場所としても活用されます。

【黒磯地区】※イメージ図

※写真・イメージ図の提供：岩国市



●平常時（交流・憩いの場として利用）



●災害時（避難場所の開設、ボランティア活動の拠点として利用）

同市「黒磯地区」の岩国医療センター跡地においては、令和2年度から福祉・交流施設の整備に着手し、令和7年度の完成を目指しています。

同施設は、健康と生きがいづくりの役割を果たす交流の場を創出する福祉機能と災害メカニズムの学習ができる科学学習機能を有した複合施設を核とし、ふれあい交流施設や自然交流施設、健康増進施設を配置する計画としており、平常時は、市民の交流の場として利用される予定です。

一方で、災害時には、一時的な緊急避難場所の開設、愛宕山地区の防災拠点施設と連携した災害ボランティア活動の拠点としても活用されることで、災害に強いまちづくりに寄与するものと期待されています。



第2宇宙作戦隊(仮称)の新編(防府北基地)

宇宙空間の状況を常時継続的に監視するなど、平時から有事までのあらゆる段階において宇宙利用の優位性を確保し得るよう、令和2年度に宇宙作戦隊を府中基地(東京都府中市)に新編しました。

令和3年度は、宇宙領域専門部隊を強化するため、宇宙作戦群(仮称)の府中基地への新編を計画しています。

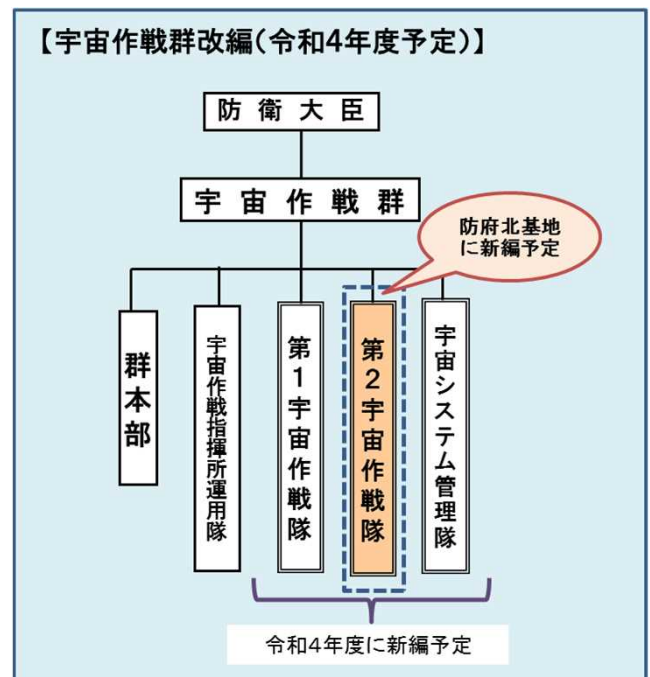
さらに、令和4年度は宇宙状況監視(SSA)システムの運用を開始するため、宇宙作戦隊を第1宇宙作戦隊(仮称)に改編するとともに、宇宙システム管理隊(仮称)を新編し、また、電磁妨害状況把握装置の運用態勢を構築するため、第2宇宙作戦隊(仮称)を防府北基地(山口県防府市)に新編する予定です。(下図参照)



2021. 11. 14. 防衛大臣視察時(航空自衛隊防府北基地)



2021. 11. 14. 防衛大臣訓示(航空自衛隊防府北基地)



諸外国における対衛星兵器の開発等により、我が国の通信衛星等に機能障害が生じる可能性を踏まえ、衛星の脆弱性への対応を検討・演練する体制を整備するため、防衛省では、令和2年度より我が国の人工衛星に対する電波妨害状況を把握する装置の取得を行っています。

第2宇宙作戦隊(仮称)が運用する電磁妨害状況把握装置は、我が国の人工衛星に対する電磁妨害状況を把握するために導入する装置であり、運用の柔軟性を確保する観点から必要に応じて機動展開することも想定しています。



第32回防衛セミナー(オンライン)の概要

令和3年10月9日、中国四国防衛局はオンライン配信(YouTube LIVE)による「第32回防衛セミナー」を開催いたしました。

防衛省・自衛隊の各種施策の円滑かつ効果的な実施のためには、国民の理解と協力の確保が重要であるとの考えの下、本セミナーは、広く防衛政策について理解を得るための施策として、平成19年から地方防衛局主催で開催し、当局では、中国・四国管内の各地でこれまでに31回の開催を行ってまいりました。

今回は、広島大学永山博之法学部長とNHK山口放送局の津屋尚放送部長を講師として、「我が国を取り巻く安全保障環境～最近の中国情勢と日本との関係～」をテーマにお話いただきました。

本セミナーでは、例年は対面講座の形で実施していますが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策の一環として、オンライン配信での開催といたしました。

第32回防衛セミナー
我が国を取り巻く安全保障環境
～最近の中国情勢と日本との関係～
2021年10月9日(土)
14:00～16:00

第1部 「中国人民解放軍と中国政治：社会主義国における党と軍」
永山 博之
(広島大学大学院人間社会科学研究所 教授 法学部長)

第2部 「中国の海洋進出にどう向き合うか」
津屋 尚
(NHK山口放送局放送部長)



第1部「中国人民解放軍と中国政治：
社会主義国における党と軍」
広島大学 法学部長 永山 博之

第2部「中国の海洋進出に
どう向き合うか」
NHK山口放送局 放送部長 津屋 尚

第1部では、永山教授から「中国人民解放軍と中国政治：社会主義国における党と軍」と題して、社会主義国における共産党と軍の関係や政治将校制度などの歴史を振り返りながら、中国における政治と軍、共産党と解放軍の関係について、第2部では、津屋部長から「中国の海洋進出にどう向き合うか」と題して、中国の海洋進出の概況、米海兵隊岩国航空基地の位置づけ等について、それぞれ講演及び視聴者から寄せられた質問等に対する解説をいただきました。

本セミナーは、多くの方に視聴いただき(再生回数約400回)、視聴者からは、「普段はあまり報道されない中国内部の事情や体制についての理解を深めることができた」、「中国の海洋進出の現状などについて、あらためて整理することができた」など、多くの感想が寄せられました。

当局では、今後も防衛政策や自衛隊の活動を広く国民に理解していただくため、防衛セミナーを開催していきます。



海上自衛隊 艦船の進水式

令和3年10月、中国四国防衛局管内において、当局が監督・検査を担当している海上自衛隊の艦船の進水式が行われました。自衛隊艦船の多様な任務について併せて紹介します。

水船(YW25) 「(株)警固屋ドック」

令和3年10月20日、広島県呉市に所在する警固屋船渠本社工場において、水船(310トン型)の命名・進水式が行われました。

本式典は、新型コロナウイルス感染症対策のため招待者を制限する中、武隈中国四国防衛局調達部長、福山大湊警備隊司令、警固屋船渠株式会社の関係者が出席し、粛々と行われました。



式典参加者 集合写真



YW25 (水船)

命名式では、武隈調達部長が「YW25」とある命名書を読み上げ、引き続き、福山司令が斧を振り下ろし支綱の切断を行い、水船はゆっくりと進水しました。

「YW25」は、令和4年1月頃就役予定で就役後は、停泊中の艦船への真水補給などを行います。

えい船(YT) 「(株)栗之浦ドック」

令和3年10月8日、愛媛県八幡浜市に所在する(株)栗之浦ドックにおいて、YT(えい船)(約260トン型)の進水作業が行われました。

式典には、赤尾玉野防衛事務所長、栗之浦ドックの関係者が出席し、粛々と行われました。

(株)栗之浦ドックでは、YT(えい船)の建造実績はありますが、八幡浜工場での建造は今回が初めてとなります。YT(えい船)は、一般的にタグボートといわれる船であり、「YT15」と命名され、今後、艀装及び海上公試を行ったのち海上自衛隊佐世保警備隊に配属される予定です。



支綱切断



YT (えい船)



海上自衛隊 艦船の進水式

油槽線(YOT) 「(株)新来島どっく」

令和3年10月20日、愛媛県今治市に所在する(株)新来島どっくにおいて、YOT(油槽船)(4900トン型)の進水式が行われました。

式典には、園田呉地方総監、石田呉警備隊司令、海上幕僚監部中塚1等海佐、新来島どっくの関係者が出席し、粛々に行われました。

(株)来島どっくは、今回初めて防衛省艦船を受注し、海上自衛隊初となるYOT(油槽船)の建造を進めております。YOT(油槽船)は、一般的にタンカーといわれる船であり、「YOT01」は、今後、艀装及び海上公試を行ったのち海上自衛隊呉基地に配属される予定です。



支綱切断



YOT(油槽船)



在日米海軍司令官の中国四国防衛局来訪

令和3年10月6日、在日米海軍司令官 カール A. ラティ少将が中国四国防衛局を来訪し、今給黎局長と意見交換しました。



ラティ司令官(中央左)と今給黎局長(中央右)

両者は、在日米軍の駐留に関しては、それを受け入れる地元の理解と協力が大前提であること、今後とも日米同盟の維持・発展のため、日米間の様々なレベルで意思疎通を図り、緊密に連携していくことを確認しました。



令和3年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰



米海兵隊岩国航空基地
(10年勤続者)



在日米陸軍第10支援群弾薬廠
(10年勤続者)

中国四国防衛局管内に所在する在日米軍基地において長年にわたり勤務をされ、それぞれ重要な職務に精励された106名の方々が、この度、在日米軍従業員永年勤続者として表彰されました。

本年10月に予定されていた表彰式は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、中止することとし、今回対象となった従業員の皆様方には、各軍の現場の監督者等から、日頃の感謝の気持ちとともに、長年にわたる功績をたたえ、表彰状と記念品の授与が行われました。

中国四国防衛局管内では、米陸軍第10支援群弾薬廠（呉市外）及び米海兵隊岩国航空基地（岩国市）において約2000名の在日米軍従業員の方々が、日々、在日米軍施設の円滑な運営に寄与されています。

今回、永年勤続者表彰を受けられた方々には、日頃、日米の架け橋として職務に精励されていることに敬意を表しますとともに、今後も、より一層御活躍いただくことを祈念します。

| 区分 | 受賞者数 (単位:人) | | |
|--------|-------------|------|-----|
| | 呉地区 | 岩国地区 | 合計 |
| 10年勤続者 | 14 | 25 | 39 |
| 20年勤続者 | 3 | 21 | 24 |
| 30年勤続者 | 7 | 29 | 36 |
| 40年勤続者 | 0 | 7 | 7 |
| 合計 | 24 | 82 | 106 |



令和3年度 中国四国防衛局永年勤続者表彰



集合写真

令和3年11月1日、中国四国防衛局永年勤続者表彰式が実施されました。同式典では、防衛省において長年勤務し、それぞれ重要な職務に精励された職員10名の方々に対して、今給黎局長から日頃の感謝の気持ちを伝達するとともに、長年にわたる功績を称え、防衛大臣名の表彰状と記念品の授与が行われました。



中国四国防衛局 岩国防衛事務所の紹介



岩国防衛事務所は、山口県東部の岩国市に所在し、山口県全域（13市6町）と広島県大竹市を管轄しています。

また、駐留軍等労働者の労務管理等業務に関しては、山口県に加えて広島県全域を管轄しています。

管内には米軍、陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊の各部隊が所在しており、主な施設としては、米海兵隊岩国航空基地、陸上自衛隊山口駐屯地、海上自衛隊岩国航空基地、小月航空基地、下関基地隊、航空自衛隊防府北基地、防府南基地等があります。



中国四国防衛局 岩国防衛事務所の紹介

当事務所では、これら米軍基地や防衛施設が所在する自治体や関係機関等との連絡調整、米軍による事件・事故への対応、駐留軍等労働者の労務管理、給与等の支払い及び福利厚生等の業務を行っています。

今回、当事務所管内のご当地グルメについて、幾つか紹介します。

山口県内で冬の味覚と言えば、やはり「ふぐ」でしょう。
全国的にも有名で、下関市にある南風泊（はえどまり）市場での初競りは全国ニュースにも取り上げられるほどです。

岩国れんこん



※岩国市提供

また、おせち料理に欠かせない食材にれんこんがありますが、ここ岩国市の名物「岩国れんこん」は他のれんこんと違い、穴が9つ（普通は8つ？）あり、江戸時代に岩国藩主であった吉川家の家紋（蛇の目九曜の紋（じゃのめくようのもん））と似ていたことから珍重されていたそうです。

ふぐ刺し(菊盛)



※(c)下関市観光政策課

それから、周防大島町のご当地鍋として「周防大島みかん鍋」というものがあります。一般的な海鮮鍋にみかんがドンと入っているのは見た目のインパクトからも一度食べてみる価値はあると思います。

山口県には他にもたくさん冬の味覚があるようなので、何かの機会に足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

みかん鍋



※周防大島観光協会提供



中国四国防衛局 職員日記（岩国防衛事務所）

私は平成5年度に当時の防衛施設庁に入庁し、1～3年ごとに異動しながら様々な業務に携わってきて約25年が経ちました。

これまでの異動先は全て異なり、その度に初めての仕事を体験してきましたが、現在の配置で初めて20代前半に1年ほど経験がある業務が巡り回ってきました。現在とは立場等は異なりますが、20代の酸っぱい思い出と重ねながら仕事をするのも感慨深いものがあります。



（岩国防衛事務所 隅内 俊文）

私の近況ですが、「国家公務員の特権である北海道から沖縄まで全国転勤」という野望は、その最初の一步である広島に転勤した直後に結婚して、私のささやかな野望の優先順位は一番低いものとなりました。

また、趣味であるツーリング用のバイクは広島ー岩国の往復ツウキング（通勤具）となっている状況で、振り返ってみると自分の予定通りには全くなっていません。とはいえ家族ができれば自分だけの人生だけではなくるので、とにかく今の現状の中で仕事も家庭も頑張っていくというのが子育て世代の一般的な状況なのではないかと思っています。



中国四国防衛局 広報誌編纂委員の旅日記

中国四国防衛局に勤務して1年半が過ぎました。これまで報道官として局広報委員会での議論を経て、少しでも解りやすく当局の所掌業務、管内の各地元また在日米軍・自衛隊の諸活動を当局作成の広報誌にて紹介してまいりました。

当局管内は、中国地方、四国地方の9県ありますが、防衛行政以外にも紹介したい魅力がたくさん溢れた地域です。昨年来からのコロナ禍ということもあり、極力出掛けることを控えていましたが、着任以降、幾つか初めて訪れ、感じた思いなどをお伝えできればと思い、極一部ですが御紹介致します。



筆者(藤田報道官)



広島県呉市は、海上自衛隊を始めとした旧軍港の古き良き街並みを残しつつ、対照的に市中心街は洗練された街並みで、新旧が同居する海山に囲まれた歴史を身近に感じれる街です。

近代日本工業の発展の中心を担った呉市は、私の敬愛するミュージシャンが過ごしたとのこともあり、市内近郊を散策した際、個人的にはとても感慨深いものがありました。

昭和62年までは、当局の前身である呉防衛施設局があり、さらに遡れば、私の御先祖様が戦艦大和の建造に携わっていたとの話を聞いたこともあり、過去に思いを馳せると、今だから感じる多くの物語を感じました。

呉市沿岸の「アレイからすこじま」は、潜水艦を始めとする海上自衛隊の多様な艦船を間近で見れる環境でもあり、多くの家族連れが訪れる観光スポットの一つです。最近の話題としては、戦艦大和が建造されていた旧呉海軍工廠造船部近くで「洋上風力発電」を運搬する世界最大規模の作業船が建造中です。

山口県大島郡周防大島町は、海岸線を走ると椰子の木と長く続く青く広がる海と空は南国ハワイそのものです。

周防大島は、瀬戸内海内で、淡路島、小豆島に次ぐ面積がありとても広いです。



同町の東端では、長年展示されてきた海上自衛隊対潜哨戒飛行艇「P S-1」が令和3年11月15日から老朽化のため解体されました。私は解体される直前に訪れたのですが、一組の老夫婦が寂しげに撤去が「残念だね」と声を掛けて頂き、防衛省で勤務する者として、長年地元で愛されたP S-1に対する思いを聞けて、とても有り難い気持ちになりました。

BBQに海水浴、日帰り温泉もできる竜崎温泉、リフレッシュには最適な周防大島。前頁の事務所紹介にある「みかん鍋」もあり、心も身体も綺麗になるそんな町です。

また、愛媛県松山市へは防予フェリーにて1時間半で渡れます。

まだまだ紹介したい地域がありますので、次号にて続きを掲載します。



2021年(令和3年)中国四国防衛局主要事項一覽







2021.1.1.～6.30.

| 月 | 米軍関係 | 自衛隊関係 | 採用関係 | その他 |
|----|--|---|--|--|
| 1月 | | | | |
| 2月 | 14日 陸自オスプレイ5機岩国飛行場に陸揚げ(岩国)(爾後、整備後木更津へ) | 12日～13日 日米共同統合防災訓練(徳島県・高知県) 17日 第7回艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト整備協議会開催 |  | 27日 日米交流事業「IWAKUNI日米合同コンサート」(オンライン開催) |
| 3月 | 15日～28日 日本原演習場における米軍単独訓練(津山市、奈義町)  <small>提供:米海兵隊</small> | 4日 海自音響測定艦「あき」引渡式・自衛艦授与式  | 8日 学校訪問(業務説明会(高卒者))  | 27日 愛宕山ふくろう公園開園(岩国市)  30日 漁船巻揚施設竣工式(大竹市) |
| 4月 | | | 1日 新規採用者入省式  | 1日 組織改編(企画部次長新設)(業務課・施設補償課統合) 24日 蜂ヶ峯総合公園にぎわい創出拠点施設開園(和木町)  |
| 5月 | 5日～15日 空母艦載機着陸訓練(FC LP)実施(硫黄島) 21日～25日 空母着艦資格取得訓練(CQ)実施(硫黄島近海) | | | |
| 6月 | 14日 呉第六突堤一部返還 17日～7月14日 航空機移転訓練(グアム島、北マリアナ諸島) | | 6日 防衛省専門職員採用試験(大卒程度一次試験) 24日 学校訪問(業務説明会(高卒者)) | 16日 広島大学における局長講義(オンライン) |



2021年(令和3年)中国四国防衛局主要事項一覽

2021. 7. 1. ~11. 30

| 月 | 米軍関係 | 自衛隊関係 | 採用関係 | その他 |
|-----|--|---|--|---|
| 7月 | | | 7月～随時 防衛業務セミナー・職場見学会(大卒程度試験1次合格者向け) 官庁訪問(大卒程度試験1次合格者向け) | 1日 中国四国防衛局幹部異動(今給黎局長 他着任) 13日 令和3年版防衛白書刊行  |
| 8月 | 6日 小型無人機等飛行禁止法に基づき自衛隊施設6施設(海田市駐屯地、善通寺駐屯地、徳島航空基地、小月航空基地、防府北基地、見島分屯基地)、在日米軍施設・区域1施設(呉第六突堤)を指定 | | 8月～随時 採用面接(大卒程度試験最終合格者向け) |  |
| 9月 | | 5日 艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト発足式 |  | |
| 10月 | 17日～23日 原村演習場における米軍単独訓練(東広島市)  22日～29日 日米共同基地警備訓練(岩国、六突、川上ほか) | 3日 海自護衛艦「いずも」へのF-35B発着艦検証作業(支援:米海兵隊岩国) 20日 海自支援船進水式 29日 美保基地に空中給油・輸送機(KC-46A)の初号機納入  | 1日 令和4年度新規採用職員内定式(大卒者程度) 10月～随時 防衛業務セミナー・職場見学会(高卒者試験1次合格者向け) 官庁訪問(高卒者試験1次合格者向け) | 9日 中国四国防衛局主催防衛セミナー開催(オンライン) |
| 11月 | | 15日～19日 美保基地におけるKC-46Aの配備について関係自治体等へ説明 21日 鳥取県知事等のKC-46A視察 | 11月～随時 採用面接(高卒者試験最終合格者向け)  | 8日 広島大学における局長講義(オンライン) |